

長期ビジョン

2025年までに トマトの会社から野菜の会社に

- 様々な素材・カテゴリー・温度帯・容器・容量で「野菜」を取り扱うユニークな存在になります。
- トマトから野菜へと概念を広げ、モノだけではなく、コトも提供する会社になります。

2040年頃までに 女性比率を50%に ~社員から役員まで~

- 多様な視点で事業活動を推進し、多様化する消費者のニーズに対応します。
- 男女ともにいきいきと働き、高い生産性を発揮する強い企業になります。

2025年のありたい姿

食を通じて社会課題の解決に取り組み、 持続的に成長できる強い企業になる

カゴメが取り組んでいる社会課題

健康寿命の延伸

農業振興・地方創生

世界の食糧問題

国内加工食品では、野菜の供給を増やして健康寿命の延伸を目指します。
国内農事業では、野菜の産地・加工拠点の開発を通して農業振興・地方創生を支援します。
国際事業では、グローバルなトマトの垂直統合型ビジネスで世界の食糧問題に取り組みます。

行動規範

共助

人権の尊重

フェアネス

企業理念

時代を経ても変わらずに継承される「経営のこころ」



感謝

私たちは、自然の恵みと多くの人々との出会いに感謝し、自然生態系と人間性を尊重します。

自然

私たちは、自然の恵みを活かして、時代に先がけた深みのある価値を創造し、お客様の健康に貢献します。

開かれた企業

私たちは、おたがいの個性・能力を認め合い、公正・透明な企業活動につとめ開かれた企業を目指します。

ブランドステートメント

社会やお客様への約束



自然を

自然の恵みもつ抗酸化力や免疫力を活用して、食と健康を深く追求すること。

おいしく

自然に反する添加物や技術にたよらず、体にやさしいおいしさを実現すること。

楽しく

地球環境と体内環境に十分配慮して、食の楽しさの新しい需要を創造すること。

Contents

カゴメ株式会社 統合報告書2021

At a Glance

- 02 健康と農業の発展に貢献するカゴメグループの歩み
- 04 カゴメの横顔



トップコミットメント

- 06 代表取締役社長 山口 聡

成長力を生み出すイノベーションを促進し、「野菜の会社」へと歩みを進めます



- 12 専務インタビュー
取締役専務執行役員 渡辺 美衡

仕事のスピードを上げて環境変化に対応し、自律的な経営を進めて強い企業へ



価値創造基盤の強化と注力施策

- 34 安心・安全な商品の提供／自然環境の保全
ブランドの約束を果たす
- 36 気候変動への対応
CO₂削減の取り組み
- 38 水、生物多様性の保全／環境負荷が低い商品の開発
野菜を育む水・土を守る
- 40 サプライチェーンマネジメントの強化
畑を起点とした商品づくりの基盤の強化
- 42 中長期的な企業価値向上に向けた人財戦略
自律的にキャリアを構築できる人財づくり
常務執行役員CHO (最高人事責任者) 有沢正人
- 47 地域との連携
食を通じた社会課題の解決に向けて



カゴメのマネジメント

- 48 役員一覧
- 50 社外取締役からの提言
- 52 コーポレート・ガバナンス
- 58 コンプライアンス
- 59 内部統制強化の取り組み
- 61 株主・投資家への責任

カゴメの価値創造と成長戦略

- 16 第二次中期経営計画の振り返りと課題認識
- 18 価値創造プロセス
- 20 カゴメの競争優位の源泉
- 22 外部環境、リスクと機会の認識
- 24 カゴメのマテリアリティ

事業基盤の強化と成長戦略

- 26 国内加工食品事業
- 28 国内農事業
- 30 国際事業
- 32 イノベーション (研究)



財務パフォーマンス

- 62 主要財務・非財務データ
- 64 連結財務諸表
- 67 企業情報
- 69 用語集



編集方針

カゴメグループは1999年度の環境報告書発行から現在まで、事業を通じた社会貢献への取り組みを「サステナビリティレポート」(CSR活動報告)や「カゴメストーリー」(会社案内)を通してステークホルダーの皆様にご報告してまいりました。本レポートは、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、カゴメの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えすることで、新たな対話の機会を創出することを目的として発行しています。また、本レポートに掲載しきれない財務情報やCSR活動報告については、当社webサイトで情報を入手頂けます。
当社webサイト
<https://www.kagome.co.jp/company/>

表示単位

本レポートで表示している金額のうち、億円単位のものは一億円未満を切捨て、百万円単位のもの百万円未満を切り捨てて表示しています。また、%は四捨五入で表示しています。

報告対象範囲

報告対象期間は2020年1月1日~2020年12月31日ですが、必要に応じて一部当該期間の前後の活動に関する記述も含まれます。報告対象範囲はカゴメ株式会社及び連結子会社となりますが、一部カゴメ株式会社のみ記述なども含まれます。

参考ガイドライン

本レポートは、国際統合報告評議会(IIRC)の国際統合報告フレームワーク及び経済産業省「価値共創ガイドライン」を参考にしています。また、CSR活動については当社webサイトにて報告しており、本レポートではESGの側面からハイライトを掲載しています。

【見直しに関する特記事項】

本レポートに掲載されている情報には、将来の見直しに関する記述が含まれています。これらは本レポート作成時点の当社の判断に基づくものであり、リスクや不確定な要因を含んでいます。今後、様々な要因の変化によって、記述されている将来見直しとは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。